



フリーマンテル港で停泊中の「しらせ」へ

若人鳥、南極へむけて出発

11月27日、無事出発いたしました。成田空港で出発式の後、空路でオーストラリアのブリスベン、さらにパースを経由してフリーマンテル港へ。そこで再会した『しらせ』に乗りこみ、出航までの準備をしています。パースは快晴。海も空も真っ青でとても美しいです。この日の朝10時の気温は24℃湿度55%、日差しは眩しくて暑いのですが、海風は冷たく感じられます。(2016.12.1 濱中)



異国の港でも堂々の存在感



「海上自衛隊の皆様、お世話になります」

出航！

12月2日、いよいよ南極大陸に向けて観測船『しらせ』がフリーマンテル港を出航しました。この日は快晴。10時の出航に向けて早朝から忙しく働く乗務員さんや、日の丸の旗を振って見送りに来てくださる方々、カメラのシャッターを切る音、晴れやかな表情の観測隊員達。そして、どんどん小さくなってく港町の風景…きっと忘れられない情景になるでしょう。これまでの全てに感謝しながら、海の向こうの大陸に思いを馳せました。



出港を見送っていただきました。

船内での訓練



ヘリコプターで救助される
ための訓練

出航後、船内での訓練が始まりました。

12月3日は救命胴衣の装着法、溺者救助、総員離艦(Abandon ship)について。お話の中で、素早く確実な人員確認のためには、自分の存在を周囲にはっきり伝える事が大切であるとお話がありました。「わざわざ言わなくてもよいのでは？」という考えが最終的に周囲に迷惑をかけ、命に関わることにもなります。物静かな(?)私は特に肝に銘じておかなければと思いました。その後は各自の部屋に用意されている救命胴衣を着て、あらかじめ指定されている救命艇に乗り込む訓練や、ヘリコプターに乗る際の注意などの説明を受け、緊張感の中で終えた一日でした。



「今日のしらせ食堂」

12月2日(金)17:30

フリーマントル港で水揚げされたばかりのロブスターのお造り、ぷりっ ぷり!



文明圏に、しばしのサヨナラ

濱中先生は今 なにしているの? どうなっているの?

12月12日(月)朝8:30 -0.3℃ 雪 南緯61度

これまで海洋観測のために南下していましたが、おとといから北西に進路を変え、アムンゼン湾を目指しています。数日に一度時刻帯が変わります。昨日の24時にG→Fに変更になり1時間多く寝られました。(地球儀でみるとわかると思います)現在日本との時差は3時間ではないでしょうか?

寒さと船酔いでいろんな感覚が変になっています。

大変な思いをしている濱中先生から↓

★クイズ、教えて!フゾクペンギン★

船の中では、お風呂はどうしているでしょう。(答えは南極通信8号で)

- ①湯船には入らず蒸気を浴びる ②海水を湯船に入れる ③普通のお湯を湯船に入れる